

～【中体連で学ぶこと】～

本校参加の種目に関しては、昨日までで熊本市の中体連が終わりました。去年は中体連そのものの実施が中止となり、各種目代替大会が行われました。幸いなことに、今年は中体連担当の種目理事、役員の方を中心に、感染予防の手立てを随所に入れながら、無事に実施することができました。私は例年だと、各部の応援のために試合会場をまわることができたのですが今年それは叶いませんでした。

ただ今年はソフトテニス競技の会場長の任を仰せつかり、ソフトテニス部の生徒達の頑張りを間近で見ることができました。

子ども達は試合前まではチームメイトと談笑していたのですが、

コートに入ると表情がみるみるこわばってきました。監督の先生は「リラックス、リラックス。」「さあ深呼吸！」と精一杯子ども達の心をときほぐそうとしていますが、なかなかうまくいきません。

「プレイボール！」のコールで試合開始。いつもは難なく入るサーブがどうにも入らない。いつもはライン際に落ちるボールが、この日はラインをオーバーして打ち出してしまふ。気持ちは走っているのだが、足がいつもより重く、イメージ通りのプレーができない。絶好球！と思って決めたボールがネットに当たってしまう。そうしているうちに「負ける。」の文字が頭をかすめ始める。頭の中は真っ白となり、これまで練習の時に何度も何度も監督から言われていたことを振り返る余裕がなくなり、心臓の鼓動だけがやたらと大きく感じる。パートナーの選手が「ドンマイ！」と言ってくれるけど、はるか遠くに聞こえる。

あれやこれやとしているうちに「ゲームセット！」のコール。「負けた。」と思った瞬間、我に返り、とめどなく涙がこぼれてくる。

優勝しない限り、いつかは敗れます。それが1回戦かもしれないし、決勝戦かもしれない。程度の差はあるかもしれませんが、部活動の生徒はみんなこの思いを経験したことでしょう。そしてわが子が涙を流す姿を見て、会場にいらっしやっただお父さん、お母さんも言葉では表現できない、何ともやるせない、胸が張り裂けそうな気持ちになられたことでしょう。いつもは決して見せようとしないうわが子のそんな姿だからこそよけいに。

しかし、子ども達はこの中体連という舞台でたくさんを経験し、学んでいるのです。



まずは、「上には上がいる。」ということです。あれだけ練習して、あれだけ試合を経験したのだから、自分より強い選手はそうそういないだろう、と思って中体連に出てみると、そんな自信が何の根拠もなかったことを思い知らされます。ものの数分経たぬうちにやられた、という場面もたくさん見てきました。世間は広いのです。上には上がいる。努力している生徒は果てしなく努力しています。だからその域に達したいと思うなら、謙虚な気持ちで、日々修行の連続と思い、これに打ち込む精神力を持つことが必要になるのです。

次に自分の本当の姿を知ることができます。本番に動じない自分を発見した生徒、あるいは舞い上がって自分らしいプレーを何一つすることができなかったと感じた生徒もいることでしょう。「自分は弱い。」と思った生徒は、楽しいこと、嬉しいこと、楽なことばかりしていても強くなることはできません。スマホ、ゲームだけの生活では到底無理と思います。たった一つでいいのです。きついこと、辛いこと、面倒くさいことを続けきることが自分自身を強くしてくれます。いざというときに動じない、頼れる自分が創られていきます。文字通り「継続は力なり」なのです。

さらに中体連ではこれまでにない深い感動を経験することができます。長い人生の中で、中3の時に、しかもたった1回しか経験できない大舞台に立ち、チームメイトや家族からの応援を受け、ポイントを取ったら大歓声、取られたら激励の声援。みんなの中に自分がいる。みんなと一体化した自分がいる。みんなと一緒に同じ目標に向けて戦っている。これほど大きな感動、充実感、高揚感をもたらしてくれる瞬間には、これからの人生においてもなかなか出会うことができないのでは、と思います。

中体連を終えた生徒はこれ以外にもたくさんを経験することができたはずで、そしてそれは決勝戦まで勝ち進もうと1回戦で敗退しようと変わらない、唯一無二のかけがえのない経験であり、一生を通じての財産となるはずで、

中体連が終わりました。この日経験した深い感動を心の支えとし、次の戦いのステージに進んでほしいと思います。次のステージとはもちろん受験勉強です。

受験勉強というステージは、たった一人で挑む個人戦です。目標を定め、心を燃やして、その達成に挑んでほしいと思います。そして1番でも1点でも上を目指してください。3年生、ファイト！

★スマホを学校に持ち込んでいる生徒がいるのでは、という情報が校長室に聞こえてきました。スマホの管理につきましてはご家庭で責任を持ってお願い致します。学校で見つけた場合は、学校で一時お預かりし、保護者の皆様へ受け取りにきていただきます。またスマホを学校で紛失した場合、責任は負いかねますのでご了承ください。TPOを意識した行動を子どもさんにご指導ください。社会人になるための基本的な資質です。